



**新しい時代の扉を我々の手でこじ開け、
闘う労働運動を次の代へ継承しよう！**

第31回地本委員会開催！

2月22日、地本は、新大阪において「第31回地本委員会」を開催しました。多くの組合員・OB会員が駆けつけ、来賓として本部本橋書記長、JS労柳楽委員長、JE労山本委員長、地本OB会井村会長が参加され、激励と連帯の挨拶がありました。

委員会は、大阪運輸所分会選出の今田議長の進行で、職場の闘いから多くの成果が報告されました。また高市内閣による戦争が出来る国づくりに反対し、平和・人権を守り、労働者の権利と利益を守るためにさらなる連帯の輪を広めていく取り組みを強化していく意見が交わされました。

スローガン

- 一、ベースアップ20,000円、定昇6,000円獲得！
改訂新人事・賃金制度を改善せよ！夏季手当3.8ヶ月満額獲得！
ゆとりある生活を守るために職場から2026春闘を闘おう！
- 一、あらゆる組織破壊攻撃を許さず、東海の地に労働運動の炎を燃やしけ、JS労、JE労、OB会と連帯して新たな仲間を拡大するために闘おう！
- 一、「業務改革」による効率化・労働強化反対！
労働者の権利と利益を守るために、職場から闘おう！
- 一、経営破綻のリニア中央新幹線建設反対！社員と地域住民への責任転嫁・犠牲を許さず建設中止に向けて闘おう！
- 一、憲法改悪反対！平和・人権・民主主義を守り抜くためにすべての仲間と連帯して闘おう！

※裏面に「委員会宣言」

委員会宣言 (案)

本日、我々は第31回定期地本委員会に集い、押し寄せる幾多の苦難を打ち破るための不退転の決意を固めた。

今、世界では権力者たちの飽くなき利潤追求の裏で、尊い命が脅かされている。武力による侵略、終わらぬ報復の連鎖、ナショナリズムを盾にした利権争いによって、平和を希求する労働者の声は、かき消されようとしている。国家間の憎しみが増幅され、罪なき市民を標的としたテロや暴力が蔓延するこの混沌とした時代において、我々は今こそ「平和の砦」としての労働組合の真価を問われている。

国内においても、裏金問題を強引な解散によって覆い隠した自民党が、単独過半数という「数の暴力」を手中に収めた。今後、憲法改悪の加速、さらなる軍拡、そして労働者を切り捨てる新自由主義の嵐が吹き荒れるのは、火を見るより明らかだ。民意を無視した強権政治は、国民生活を根底から破壊する「経済的暴力」に他ならない。我々は、平和を脅かすあらゆる戦争政策に断固反対し、人間らしく生きる権利を守るため、連帯の輪を広げ、徹底して闘い抜く！

JR東海の経営姿勢は、もはや公共交通の使命を忘却したものと言わざるを得ない。「日本の大動脈を担う」という美名のもと、3兆円もの公的資金を仰ぎ、11兆円という巨費をリニア建設に投じながら、地域住民の切実な声や、環境破壊を無視し続けている。その一方で、現場で汗する労働者に対しては、あまりに不誠実かつ冷酷だ。「業務改革」の名を借りた4,500名もの人員削減、グループ会社への収益至上主義の押し付け、そして正当な権利を主張する者へは、見せしめ的な配置転換や報復的評価を行い、我々との団体交渉を拒否し続けている。社員を「使い捨ての駒」としか見ないこの経営姿勢を、我々は断じて許さない！

我々は、JRサービック労働組合、JRSE労働組合、JR東労働組合の仲間と共に、この春闘を全力で闘い抜く。さらに、幾多の苦難を乗り越え、組織の礎を築いてこられたOB会の先輩方とも固く手を携え、先達の「実践と理論」を継承し、強固な共闘体制を構築する。そして、組織の垣根を越え、地域や他産業の仲間とも固く連帯して闘う！

暗い現実を嘆く時間は終わった。「沈黙」と「諦め」は「承認」であり、「屈従」への第一歩である！ 会社・権力からの理不尽な圧力を恐れず、今こそ、それぞれの職場から怒りの狼煙を上げようではないか！ 一人の勇気ある声と行動が、やがて職場全体を、そして社会を動かす大きな力になる。我々の命、家族の笑顔、そして組織の将来を、決して他人に委ねてはならない。

闘わなければ、何も変わらない！ 闘ってこそ、道は開ける！ 自らの手で、奪われた権利を奪還し、組織の強化・拡大を勝ち取ろう！ 我々の団結した闘いこそが、混迷の時代を切り拓く光となる！ 新しい時代の扉を我々の手でこじ開け、闘う労働運動を次の代へ継承しようではないか！ いざ闘わん！

以上、宣言する。

2026年2月22日
JR東海労働組合新幹線関西地方本部
第31回定期地本委員会